

平成16年4月1日から、「広島県生活環境の保全等に関する条例」により、駐車時のアイドリング・ストップ（原動機の停止）が義務づけられました。

“アイドリング・ストップ”ってなに？

自動車走っていないときにエンジン（原動機）が動いている状態（アイドリング）をやめることです。

特にこんなときにはアイドリング・ストップを！

- 携帯電話をかけるために駐車しているとき
- スーパーやコンビニなどで買い物をしているとき
- 駐車場などで人待ちしているとき
- 荷物の積卸しをするとき

「アイドリング・ストップ」の効果は？

広島県内の全ての自動車が、毎日10分間のアイドリング・ストップをしたら・・・
光化学スモッグや酸性雨の原因となる窒素酸化物の排出量が県内で年間約290トン削減されます。
また、年間約9万キロリットルの燃料が削減され、県内におけるガソリンと軽油使用量約3.4%の節減になります。

駐車時はアイドリング・ストップ

ひろしまの青い空と地球環境をまもるために・・・

どんな車でもアイドリング・ストップしなくちゃいけないの？

全ての自動車と原動機付き自転車、アイドリング・ストップするよう、義務づけられています。
ただし、救急車などの緊急自動車、緊急用務で使用している時などやむを得ない場合は除かれています。

○「アイドリング・ストップ」を繰り返して、バッテリーは大丈夫なの？

バッテリーの性能は、良くなっているので、人待ちや荷物の積卸し時にエンジンを停止する程度であれば問題はありません。

○再始動時の排気ガスって問題じゃないの？

エンジン始動時の排気ガスの増加は、アイドリング・ストップ30秒分だといわれています。目安として1分を超える場合は、アイドリング・ストップをしましょう。

問合せ先：広島県環境県民局環境部
環境保全課
(電話082-513-2917)

ひとりひとりがエコ・ドライブ

自動車の使用者・運転者は、平成16年4月1日から、「広島県生活環境の保全等に関する条例」により、自動車の適正な点検・整備、エコ・ドライブ（燃料使用の低減に資する運転）、相乗り等の実施に努めるとともに、低公害車等の使用・購入に努めることが義務づけられました。大気汚染の原因となる窒素酸化物や地球温暖化の原因となる二酸化炭素などの排出量を極力少なくするために、一人ひとりの心掛けですぐに実施できるのがエコ・ドライブです。

エコドライブってどうするの？

1 乗る前には・・・「きちんと点検・整備を」

適正なタイヤ空気圧よりも0.5気圧少ない状態で50km走ると、乗用車でガソリン150ccが無駄になります。日ごろから、車をこまめに点検・整備しましょう。



2 それから・・・「余分な荷物は積まないようにしよう」

10kgの不要な荷物を乗せて50km走ると、乗用車でガソリン15ccの燃料が無駄になります。必要のない荷物は降ろしてダイエットさせましょう。



3 さぁ発車・・・「なめらかに発車！そしてゆっくり加速！」

急発進・急加速を繰り返すと、騒音の発生だけではなく、ガソリンの無駄使いにもなります。なめらかに発進・加速、適切な車間距離をとって運転しましょう。



4 ドライブ中は・・・「お得な走行をしよう」

一般道路なら時速40km程度。高速道路なら時速80km程度で走るのがお得な走り方です。エアコンも、こまめに温度調節するとお得です。



5 止まるときは・・・「違法駐車はしない」

迷惑駐車は交通渋滞をもたらす余分な排気ガスを出す原因になります。平均車速が時速40kmから時速20kmにおちると、燃費は40～50%悪化すると言われています。

6 そして・・・「エンジンを切る習慣をつけよう」

わずか1分間のアイドリング・ストップでも大気汚染の軽減や地球温暖化の防止につながります。



7 さらに・・・

- ・車を使うときは、相乗りしよう。
- ・公共交通機関が利用可能なときは、できるだけ公共交通機関を利用するようにしよう！

車を買うときは？

- ・低公害車認定車の選定に努めましょう。自動車税なども安くなります。低公害車には、ハイブリッド車、天然ガス車等のほか、低燃費かつ低排出ガス車も認定されています。右上のようなステッカーが目印です。
- ・中小企業者などの皆様には、低公害車の購入に際し、広島県環境保全資金融資制度があります。

